



志木二中だより

「勇気」 前に向かう強い心をもつ生徒

「信頼」 静かに考え他を認め励ます生徒

令和5年度 10 月号

令和 5 年 10 月 2 日(月)

志木市立志木第二中学校

志木市館 1-3-1

TEL:048-473-2379

人生に生きる力の育成を目指して

校長 三杉 紀文

ようやく猛暑よりは気温が落ち着きましたが、それでも本格的な秋の到来にはまだ時間がかかりそうな気配です。また、新型コロナウイルスとインフルエンザ両方の感染拡大の状況が見られますので、引き続き健康管理には十分な注意が必要です。

さて、9月は9日(土)に実に4年ぶりとなる授業公開を実施することができました。本校の授業の様子、生徒の様子を保護者等に直接見ていただく機会をようやく設けることができ、また一步、コロナ禍以前の学校の健全さを取り戻せたように感じています。生徒たちも久々の授業参観に、気恥ずかしさ半分、うれしさ半分というところだったのではないかと思います。3時間目からのふれあい講演会は、暑さ対策のため、オンライン開催とさせていただきますでしたが、2人の講師(看護師、言語聴覚士)から、キャリア教育の視点でそれぞれの職業に関する貴重なお話を聞かせていただくことができました。

9月の第3週は、お陰様で3年生が修学旅行(奈良・京都)、2年生が校外学習(鎌倉)に行ってくることができました。体調不良等のために参加できなかった生徒は残念だとは思いますが、ともに生徒たち自身が計画を立てて主体的に学習する「班別行動」を実施し、生徒たちそれぞれの成長ぶりを垣間見ることができました。保護者の皆様には、事前の準備や生徒の体調管理等にご理解、ご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

ところで、本校が進めてきた小中一貫教育に関連しては、すでにご承知のとおり志木市教育委員会から次の2点が発表されています。①志木第二中学校区の義務教育学校の開校予定は、当初の令和7年度から令和9年度へと変更、②この義務教育学校の校舎は、本校と志木第二小学校の校舎等を1年生から9年生までの普通教室、特別教室、特別支援学級、運動場、体育館として活用(志木第四小学校は児童及び生徒のために、教育的な活用を図る)。

志木第二中学校区では、今年度も小中一貫教育を推進するため、様々な取組を実践しています。本校の教諭が小学校へ出かけて行う乗り入れ授業(今年度は国語、音楽)、夏季休業日には小学校の教諭が本校の部活動への参加(吹奏楽部、女子バレー部)、今月の小中ふれあい会や部活動体験をはじめとした小中合同行事、本校の定期テスト期間に合わせた小学校での家庭学習の推進、教職員の小中合同研修会などです。従来、小学校・中学校と義務教育を「分業」し、それぞれの「部分」最適を図ってきましたが、小中一貫教育の推進により義務教育としての「全体」最適を目指していきたいと考えています。